

第2回 遠賀川流域生態系ネットワーク形成推進協議会

2. 取組についての状況報告

令和 元年 7月 24日

取組についての状況報告

(1) 外来生物駆除の取組

【遠賀川一斉清掃と併せた特定外来生物オオキンケイギク駆除】

- 福岡県環境部では特定外来生物のチラシを作成、配布。
- 遠賀川一斉清掃を5月11日～6月16日実施。一斉清掃と併せて5機関（直方県土整備事務所、嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所、飯塚市、香春町、大任町）でオオキンケイギクの駆除に取り組んだ。

■特定外来生物チラシ (福岡県環境部自然環境課)



■オオキンケイギク駆除状況



実施主体：嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所
場所：飯塚市（飯塚大橋～新飯塚橋間）



実施主体：大任町
場所：彦山川大任町水辺公園

(2) HP等による情報発信

- 遠賀川河川事務所HPでは「遠賀川流域生態系ネットワーク形成」のページを開設。これまでの各委員会の経緯、資料、取組方針等を公表している。

■ 遠賀川河川事務所HPにおける「生態系ネットワーク形成」のページ開設

🏠 トップページへ戻る

- 事業概要
- 特定構造物改築事業
- 治水事業の効果
- よくある質問
- 不法係留船対策
- 遠賀川河川整備計画
- 遠賀川流域生態系初回**
- 維持管理

遠賀川流域生態系ネットワーク形成

遠賀川流域生態系ネットワーク形成

生態系ネットワークとは

生物が生息・生育する様々な空間（森林、農地、都市内緑地・水辺、河川、海、湿地・湿原・干潟・藻場・サンゴ礁等）がつながるネットワークのことです。

生態系ネットワークの概念は、「21世紀の国土のグランドデザイン（平成10年3月）」において、国土規模での生態系ネットワーク形成を目指すことが位置づけられ、「生物多様性国家戦略2012-2020（平成24年9月）」や「国土形成計画（全国計画）」平成27年8月では、生態系ネットワーク形成の重要性や関係機関による連携の促進が掲げられています。

目的

遠賀川河川事務所では、これまで河川における生物の生息・生育環境や自然再

生態系ネットワーク形成のトップページ

遠賀川流域生態系ネットワーク形成推進協議会

本協議会は、遠賀川流域における多様な生物の生息・生育環境を保全・再生する取組を実践していくために設置しました。

第1回では、流域共通の目標とする遠賀川流域における生態系ネットワーク形成のための取組方針を策定し、関係機関等で情報共有を図りながら、連携・協働のもと取り組んでいくことが合意されました。

今後は、より実行性を高めるために、実務担当者による『作業部会』を設け、深い議論や検討、調整を行える体制を確保しながら進めていきます。


> 遠賀川流域における生態系ネットワーク形成のための取組方針

遠賀川流域生態系ネットワーク形成推進協議会 会議資料等

平成30年8月1日 「第1回 遠賀川流域生態系ネットワーク形成推進協議会」

【会議資料】

- 議事次第
- 資料-1 協議会の設立趣旨について
- 資料-2 協議会規約（案）について
- 資料-3 遠賀川流域における生態系ネットワーク形成のための取組方針（案）について
- 資料-4 流域における連携・協働の可能性について
- 資料-5 今後のスケジュールについて



→ PDFでダウンロードできる

(3) 水辺からはじまる生態系ネットワーク全国会議

- 平成28年度に発足した「水辺からはじまる生態系ネットワーク全国会議」は、今年度から新たに嘉麻市に加入していただき、計27市町が会員となった。
- 平成31年1月11日に、「第3回水辺からはじまる生態系ネットワーク全国会議」が開催され、嘉麻市長が参加された。
- 6首長から、生態系ネットワーク形成が地域経済に与える好影響、生態系を活かした地域づくりが円滑に進むためのポイントについての紹介があったほか、全国的な取組の展開に向けて、分野を超えた自治体内の連携、自治体間の広域連携や情報共有の重要性が再認識された。

ポイント

※生態系ネットワーク形成を進める上で、地域社会との関わりを持ち、流域での多様な主体と連携・協働した取組の推進が必要。「水辺からはじまる生態系ネットワーク」を全国的に推進する上で、全国の首長が互いに情報を共有し、取組の輪を広げていくことが重要

全国会議会員（27市町）

- ・長沼町・大崎市・坂東市・小山市・野木町
- ・鴻巣市・川島町・野田市・我孫子市・いすみ市
- ・東庄町・越前市・豊岡市・米子市・境港市
- ・松江市・出雲市・安来市・雲南市・奥出雲町
- ・飯南町・鳴門市・阿南市・西予市・四万十市
- ・嘉麻市・出水市

※下線部は、新規加入市町



全国会議の様子